

## 女性の 社会的役割



水野幹子さん

株式会社 松野 菱  
売場主任 市松 浜

**高まる社会参加意欲**  
これからは、子育てを終わった主婦の社会参加意欲が高まり、専業主婦は減少するでしょうが、中高年齢で専門知識や技能も持たないと再就職は難しいと思います。

### 母性を大切に

これからの女性は、職業についての専門知識や技能を身につけ、自立心を養うことが必要だと思います。

また、女性にとって、結婚・出産・育児の持つ意味は男性に比べはるかに大きいわけです。女性が立派に社会的役割を果たしていくためには、女性の特質にあった社会システムを作っていく必要があります。

例えば、「再雇用制度」や「育児休業制度」などが普及すれば、職業を通じての社会参加が今よりは容易になると思います。

### 女性の努力と実績で

職場ではまだまだ男性社会であり「女なんか」と思っている男性が多いですね。女性が社会で認められるには、男性以上の努力と実績を残すことが必要です。その時はじめて重要なポストに就くことが可能になるのではないのでしょうか。男女にかかわらずその実力が評価されて、管理職に就く女性が出てくるのもそんなに遠い日ではないと思います。

しかし、いかに時代が変わっても、女性特有の細やかさ、女らしさは不変でありたいものです。

## 家庭 での役割



山下ひろ子さん

主婦  
大井川町

**大事な母親としての役割**  
「親は子を産んだ以上、人間として最低限必要な、本質的なやさしさ、いざわり、暖かみを感じる子に育てる必要があります。ところが、母親が自分の自立とか、経済的な面だけに目を向けて生きていくと、子供に悪

影響がでるのでないかと、こわくになります。最近是非行の低年齢化も叫ばれています。

だから子育て時代は、もっと何かしてみたいという欲があっても、母親の役割の大きさや、家族との関係などを考えて家庭にいる、という現在の主婦の状態はこれからもあまり変化はないと思います。

### 家族の理解と協力で社会参加

そして子育てが終わって、生きがいや求めたい、社会の役に立ちたいと思った時、問題になるのは家族です。特に、夫の理解と協力が一番必要になってきます。理解と協力があ

ってこそ初めて、外に目をむけようとはつきり決心もつきます。もっとも、理解と手助け、といってもその男性の性格や考え方で違ふと思えますので、まずは男性自身の意識を変えていかなければ。でも女もたえず感謝の気持ちを持って接すれば家族もきつと気持ちよく協力してくれるはずですよ。

私はかつて英語の教師をしていた関係上、今家で近所の子供たちに英語を教えています。子育ても終わり余裕ができたなら子供向けの本を、原書から翻訳して、読んでやりたいなと思っています。

母親役割の重要性は、今後とも変わらないと私は思っています。

## 結婚観 家庭観



山内 暁子 さん  
主婦  
掛川市

勝つもの信じていた戦争に負けて、日本人はすっかり自信をなくしましたね。そこへ民主主義が入り、みんな平等ということになって、それまでは鶴の一声の人がいたのに、そういう権威が不在ということになり

### 父親のあり方が変わる

家庭的に秩序がなくなりました。今、こういう風潮が、問題視されていますから、今後はそれを修正する努力がいろいろなところでき、家庭内における父親のあり方が変わってくると思います。

### 役割分担意識は残る

男女平等というのもすべて同じことをやるということではないと思いますが、長いこと抑圧されてきた反動からか、誤った考えが横行しています。しかし、その内「妻は家庭」、「夫は仕事」という役割分担を残した

### 社会参加が女性を変える

ただ、家事時間が減り、子供が少なくなると、寿命が伸びてきましたから、今後は職業や社会参加を通して女性が力をつける機会も益々増え、子供や夫の世話だけが生きがいという人は少なくなるとは思います。



田中 楯夫 さん  
静岡青年会議所 理事  
青島市 静岡

### 結婚する時点で生活設計を

共働きが多くなったと言われているが、これからも増えていくでしょうが、意識の点でまだ問題が多いと思います。

例えば、大島渚・小山明子夫妻のように立派にやりこなしている夫婦もいますね。これは、結婚する時点で

で二人とも自立しているという条件があったからでしょう。女性の目が家庭外の役割へと向かうのが悪いとは思いませんが、そのためには前提となる条件がいくつかあると思います。将来自分たちの生活をどうしたいのか、しっかりと話し合った上で結婚することも、その一つじゃないですか。外で活躍したいという女性が、ワンマン亭主型の男性と結婚しても、なかなかうまくいかないでしょう。

### 真の自立を

私の姉は、子育てが一段落したと

ころで、結婚前にやっていた建築の仕事をもた始め、第二の人生を生き生きと送っています。今までの蓄積を生かせる仕事につくのは大変なことだと思えます。だから、これからの女子教育は、再就職にも困らないような自立した女性を養成していくべきですね。

### 男性も家庭や地域に目を

男性も、仕事だけというのはなく、家庭や地域とのかかわりを深めるような、PTAや町内会等の仕事も、奥さんだけにまかせずに、もつと手を出すべきでしょうね。



## 主婦一年生の悩み

近頃は女性たちの向学心が旺盛で、文化的活動、趣味の集まり等、今や花盛りの世相。そのせいか、男性と女性とでその老後の暮らし方にもずいぶんと格差がついてきてしまったとか。先日、私の友人からこんな話を聞かされた。

頑固一徹、家にあつては威厳のかたまりみたいな彼女の父上、数年前の定年退職以来すっかり別人のように生氣をなくしてしまったという。「家にあつては身のまわりのこと何一つできないダダツ子同然」と彼女は酷評。勿論それに比して、数十年そんな氣むずかし屋の夫、昔気質の厳しいお姑に仕え、黙々と働いてきた母親の株は高い。今では何か相談ごとがあれば、まず「お

母さんに」と言われるほどに家族の尊敬を集めているとか。

我が家の夕食時に、今度は夫にその話を持ち出してみた。毎日仕事ばかりに追われている彼、気がつくとは、はたと考え込んでしまっている。そこであわててしまったのが今度は私。思えばそんな夫のおかげで安心しきって毎日平穩に暮らしている私たち。妻にとつても、これは決して無関係な問題ではないはず。となれば……互いに仲良く共存していくために……夫の仕事、妻の仕事、もつともつと互いに分かち、共同化しなくては不公平……というこ

## 油揚げ入れ 野菜いためダイナー

六時をまわって空には星がキラキラ。夕食の買い物もまだ。予定より帰宅が遅れそうに家に電話を入れる。

「もしもし」と八歳の次女の声。

「私よ。もうすぐ帰るけど、お父さん帰ってるかしら。」

「うん。あのねえ（と、やおら声

が小さくなった）今、台所でお皿洗いながら歌うたってるよ。」

「じゃあね、晩ごはんおうどんにするから、大きなお鍋にお湯わかしておくように頼んでおいてね。」

途中でねぎと干物など買い、たどりついたわが家。何たる幸せ!! テーブルにすわって子供が食事中。しかも野菜いためをおかずにして。

「天国、天国」と叫んで、私もお相伴。野菜いために油揚げを加える

なぞやはり男の感覚だが、これがなかなかいける。

数日前、取りたてのまぐろを見事な包丁さばきで調理し、大根でつまを作り、ご馳走してくれたM氏にいたく感激のわが亭主ドノ。

鍋物に続き野菜いために挑戦したというわけ。おかげで、うどんに野菜いためという風変わりな取り合わせとはなったものの、炊事係としては大満足の夕べではありました。

## 女と男と

### どつちが偉い?

「お母さん、人間はどうしてできたの?」「どうして人間は男と女しかないの?」「女と男とどつちが偉いの?」六才になった息子の、「なぜなぜ」病には閉口させられることがしばしばです。

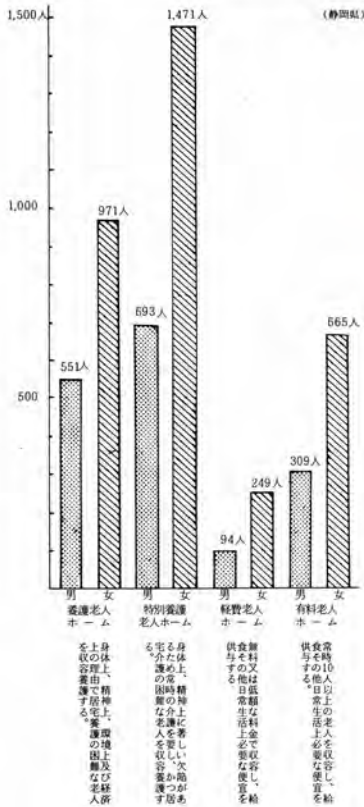
神様が土で人間の形をつくって息を吹き込んで、まず、男をつくり、男のあばら骨から女をつくつたという、うろ覚えの聖書の話

して、その場をつくらいました。しかし、考えてみると、人間には女と男しかいませんし、人口比もほぼ半々というのは、息子ならずとも不思議ですね。

聖書にそういう話のついているということは、昔の人もきつと不思議に思つて、一生懸命考えたにちがいありません。

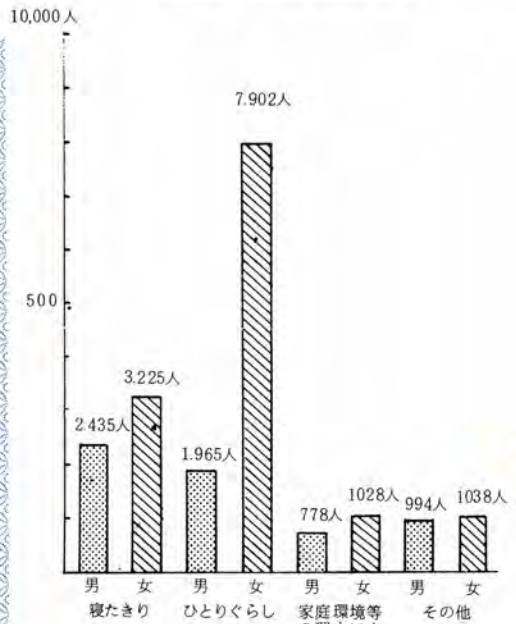
私には「なぜ?」なんてことはどうでもよいことですが、しよせん世の中、女と男しかないので、すから「女ばかりが損だわ」ということはなくしたいですね。

### 老人ホームの入居者数



### 援護を必要とする

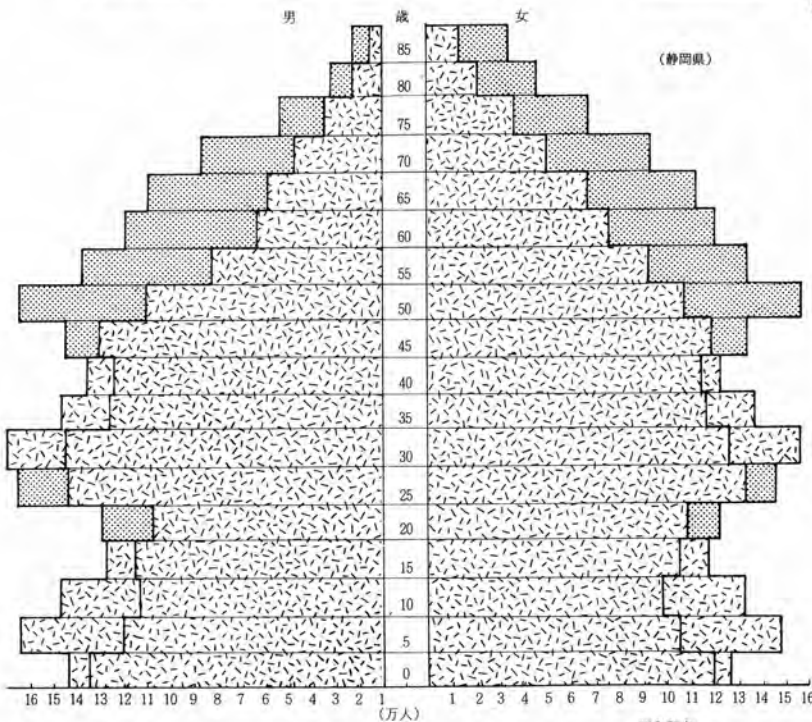
### 在宅老人の状況



資料：静岡県民生部老人福祉課 (昭和57年4月1日)

高齢化社会

### 高齢化していく人口構造



資料：総理府「国勢調査」  
注：75年は静岡県知事公室企画調査課試算

### 租税負担・社会保障負担の増大

(国民所得に対する比率)

	租税負担率	社会保障負担率	計
	A	B	
1960年度	19.2	3.1	22.3
1965	18.5 (18.6)	5.1	23.6
1970	18.9 (19.3)	5.4	24.3
1975	18.3 (19.0)	7.5	25.8
1976	19.2 (19.6)	7.9	27.1
1977	19.3 (20.0)	8.5	27.8
1978	21.4 (21.9)	8.7	30.1
↓ 予測			
1980	23.4	9.3	32.7
1985	26.9	11.0	37.9
1990	28.6	14.3	42.9

- 注) 1. Aは国税及び地方税を合わせた租税負担額の国民所得に対する比率(いわゆる租税負担率)。  
 Bは社会保障負担の国民所得に対する比率。  
 2. 租税については主税局調、社会保障負担については「国民経済計算」。  
 3. 1965～1978年度の( )内と、1980年度以降の租税は「国民経済計算」ベースである。

資料 国税庁「財政統計年報」  
 経済企画庁「国民経済計算年報」  
 出所 日本経済研究センター「成熟型消費社会の構図」

# 私たちのまち

## 清水市

清水市婦人問題懇話会からの「清水市における婦人問題の解決について」の報告をもとに、五十七年七月、「婦人のための清水市計画」を策定した。

この計画の実現に向けて婦人・生活室では、婦人施策を担当する部課の連絡調整を行い、総合的な推進に努めている。先ごろ実施した女子パートタイマーの実態調査も、働く婦人の条件整備に資するものである。

さらに、婦人自身が婦人問題の自覚を高め、解決のためさまざまな分野で活躍するように、①社会参加の促進事業、②人材の養成、③各種婦人団体の連絡調整、④情報の提供、⑤婦人フォーラム、婦人生活スクール等啓発事業に力を注いでいる。

婦人・生活室

## 三ヶ日町

町の多くを占めるみかん農家は、経営の多角化等で婦人がその経営を大幅に分担して多忙な生活です。婦人会も農協婦人部の組織を兼ね、一本立ち二面相の運営の妙を図っています。また一面、都市化の様相も加わり、多様化の中で豊かな町づくりを進めるのに、町民の心を一つにして連帯感を深めることを重視し、町民一体、とりわけ婦人の総力を挙げての諸事業を組み入れて続けています。

また地域づくりは婦人の社会参加に負うところが大きく、あらゆる地域学習、地域活動に婦人の参加を求めています。そして、婦人が主体的に地域の課題を見つけ、その活動への取り組みをバックアップして諸事業の推進を促しています。

社会教育課

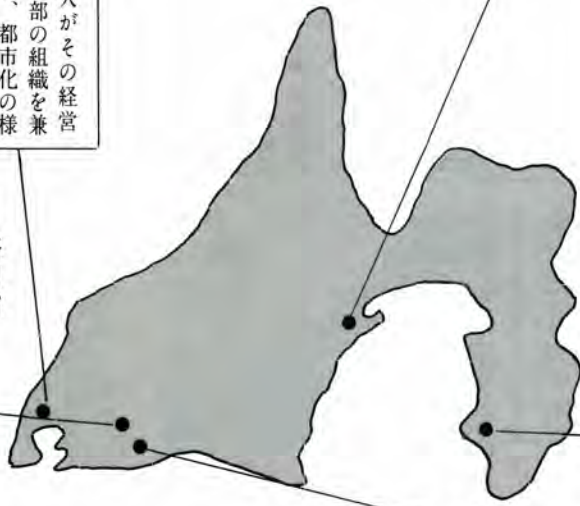
## 松崎町

「花とロマンのふるさと」

松崎町では、うるおいとゆとりある生活、ぬくもりのある環境アメニティー、たくましい体、豊かな心を目標に地域学習を展開しています。家庭・地域の中心母体である婦人会もその主翼を担って活動していますが、特にあいさつ運動では「あいさつは親から地域から」、「あいさつはいつでもどこでもだれにでも」を合言葉に、環境づくりでは悪書の追放や「花いっぱい運動」を展開中です。

三地区に分かれた婦人会では、ユニークな年間事業と学習計画を立てています。また、三地区連合の町中央婦人学級でも、町づくり活動、会員相互研修活動で仲間のふれ合いの輪（和）を広げています。

教育委員会



## 磐田市

最近のめまぐるしい社会情勢の変化は、家庭の内外及び婦人自身の生き方に大きな変革をもたらしつつある。当市においても例外ではなく、婦人の生涯の各時期における多様な学習要求に応えるため

## 浅羽町

豊かな自然に恵まれる、ふるさと、明るい豊かな住みよい町づくりを目指す浅羽町では「明日をひらく人づくり」、「健康で豊かな生活と安心のある暮らし」と町づくりは着々と進んでいる。

家庭・地域の中心母体である婦人会活動は目ざましいものがある。特にあいさつ運動は、家庭の婦人から、地域の婦人からを合言葉に進めている。

現在大きな問題となっている「青少年健全育成」では悪書追放、補導、「環境整美」では缶拾い、花いっぱい運動、「自主防災」では、日ごろの訓練にと幅広い活動を展開している。

その他ユニークな年間事業と学習計画をたて、町づくりの活動と会員相互の研修活動を進めている。

教育委員会

- (一) 公民館等の学習の場の整備
  - (二) 婦人が当面する課題に関するさまざまな学習機会の設定
  - (三) 各種情報の提供や指導者の発掘と育成
  - (四) 各婦人団体、サークルの自主的学習活動を奨励するための必要な援助
- 等に努めている。
- また、婦人の地位向上、差別是正、社会参加等の課題に取り組むため、広く意見や提案を求め、新しいスタイルの婦人施策を目指している。

社会教育課